

★2017年度入学式★

<<入学式における阿南孝也学校長の式辞より(一部抜粋)>>

4月8日

○中学入学式

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんは今日から洛星中学校の1年生です。教職員一同、皆さんの入学を心待ちにしていました。満開の桜が、新入生の皆さんを出迎えてくれました。

さて皆さんは、これから始まる学校生活に、大きな期待と夢を膨らませていることでしょうか。私は、洛星で学ぶ皆さん一人ひとりが、心・頭・体のバランスのとれた人間として成長してほしいと願っています。そのために、皆さんに2つのこととお話したいと思います。

1つ目は「人の痛みに気づくことのできる人間になってください」ということです。神は、ご自分に似せて人間を創られました。では、どこが神様と似ているのでしょうか。姿形が似ているのでしょうか。いいえ違います。人のことを思い遣ることができる優しい心が似ているのです。

新入生の皆さん、ろうそくの灯りって不思議だと思いませんか。たいていの物は人に分けると少なくなりますね。でもろうそくの火は、隣の人に分けるとどうなるでしょうか？そう、輝きが2倍になるのです。私たちの心も同じです。人の痛みに気づく優しい心、困っている人を助けようとする強い心を燃え立たせて、その火を伝えていくことができたならば、一人ひとりの心に灯りが灯され、お互いを思いやる素晴らしい集団が作られていくことでしょうか。66期生の皆さんが、温かな仲間となって輝きを増し、成長してくれることを願っています。ろうそくは、自らを削りながら周囲の人に明るさや温かさを与えます。洛星中学校に入学した皆さんが、苦しみの中にある人に寄り添い、他者のために喜んで自分を捧げる生き方を選ぶ青年として成長してほしい、そう願っています。

2つ目は「学ぶ楽しさを知る人になってください」ということです。新入生の皆さんには聖書をお渡しします。この聖書の中には、皆さんと同じ、12歳になった少年イエスが、ユダヤ教の神殿にお宮参りにいった出来事が記されています。(ルカによる福音書2章41～52「神殿での少年イエス」)

イエスの時代、神殿で聖書を朗読し、大人に混じって意見を述べることもできました。皆さんは今日から洛星中学校の生徒です。ここ洛星で、先生や仲間の話を聞いたり、質問したりしながら、自分自身の力で学んでいかなければなりません。新入生の皆さん、ぜひ授業を大切にしてください。そして家に帰ってからは、一人で机に向かって勉強するよい習慣を一日も早く身につけてください。

洛星に入学したら、こんなクラブに入りたいと、楽しみにしている人も大勢いることでしょうか。学習の習慣を身につけた上で、クラブ活動にも積極的に参加してください。洛星では、文化祭や体育祭、宗教行事など、さまざまな活動がみなさんを待っています。

○高校入学式

高校生となった皆さんには、これまで以上に「責任を伴った行動ができる人であってほしい」と願います。責任は、漢字で「責めを任される」と書きます。組織の一員として果たさなければならない、マイナスのイメージが強い言葉のように思いがちです。しかし、英語の“responsibility”は、“response”:応答+“ability”:能力という意味を持つ言葉です。“response”は、ラテン語で“re-spondere”:誰かからの約束に約束し返す、他者からの呼びかけに応えるという意味の言葉なのです。他者とは、キリスト教の神を指しているのです。仕事を表す“calling”や“vocation”は、天職と訳される言葉です。将来進むべき道について考えることは、高校生活における大切なことです。自分は何をやりたいのか、どのような能力をいただいているのか、何をなすべきなのか、どのように責任を果たしていけばよいのか、問い続けてください。

イエス・キリストは、生涯を通じて、常に弱い立場に立たされた人の味方でした。世界に目を向けますと、残念ながら、紛争や貧困などにより命の重さが同じとはいえない現実が存在します。傷ついている人々のために何ができるのか、どのような社会を築いていけばよいのか、日々の学びを通して答えを探す努力を続けてください。

高校生になり、授業内容がより高度なものになることでしょう。今一度毎日の生活を点検し、日々の学習の質向上に努めることが、学ぶ楽しさを体験することにつながっていくと確信しています。洛星は学ぶ機会が豊富にある学校です。また切磋琢磨するよき仲間にも恵まれています。この環境を生かし、クラブ活動や文化祭、体育祭、宗教行事など、さまざまな活動への積極的な参加を心掛けてください。洛星高校での3年間で、自ら学ぶことの楽しさを知る人になってください。